

解体工事進捗状況について（令和8年1月現在）

工事名 旧溶融施設(工コスラグセンター)解体撤去工事
発注者 鳥取県西部広域行政管理組合
工期 令和7年8月22日～令和9年2月26日
工事場所 鳥取県西伯郡伯耆町岸本489番地1
共同企業体名 東亜・金田・津田建設工事共同企業体

【工事概要・作業内容】

近隣の皆様や、通行する車両の安全確保、石綿含有物の除去及びダイオキシン類の除染など、環境対策を十分考慮した作業方法で解体撤去を行います。

【現在の作業状況】

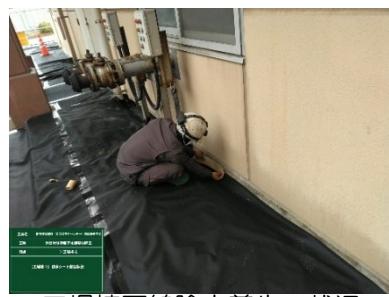
石綿除去及びダイオキシン類除染に向けて、しっかりと目張り養生（隙間や継ぎ目を塞ぐ措置）を行い、密閉空間をつくる作業を実施しています。密閉空間が出来次第、除染や除去を進めていきます。また、建物内部の片づけ、内装の解体も進めています。

なお、敷地内の溜柵及び敷地横の水路の水質検査（工事着工前）を実施した結果、異常はありませんでした。

《工事状況写真》



工場棟ダイオキシン類除染養生の状況



工場棟石綿除去養生の状況



屋根、ベンチレータ部足場揚重状況



工場棟内装解体状況

【1月現在の進捗率】

12月末計算の現在の工事の進捗率は5%（計画値5%）で、予定どおり進捗しています。

項目 ■：計画 ■：実施	令和7年					令和8年												令和9年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準備工(調査・仮設等)																				
解体工事(工場棟)																				
解体工事(管理棟他)																				
外構解体																				
跡片付工																				

【これから（1月、2月）の予定】

1月、2月は石綿除去、ダイオキシン除染、必要箇所の足場組立等を中心に進めています。